

野村ハイパーストック・ベア4 (マネー ポートフォリオ4)

償還運用報告書(全体版)

第2期(償還日2016年2月15日)

作成対象期間(2015年2月14日～2016年2月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/債券
信託期間	2014年2月28日から2016年2月15日までです。
運用方針	円建ての公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主な投資対象	円建ての公社債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は転換社債の転換等に関し、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配					
(設定日) 2014年2月28日	円 銭 10,000		円		%		%	百万円 1
1期(2015年2月13日)	10,003		0		0.0	60.7	—	60,777
(償還時) 2期(2016年2月15日)	(償還価額) 10,004.55		—		0.0	—	—	806

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

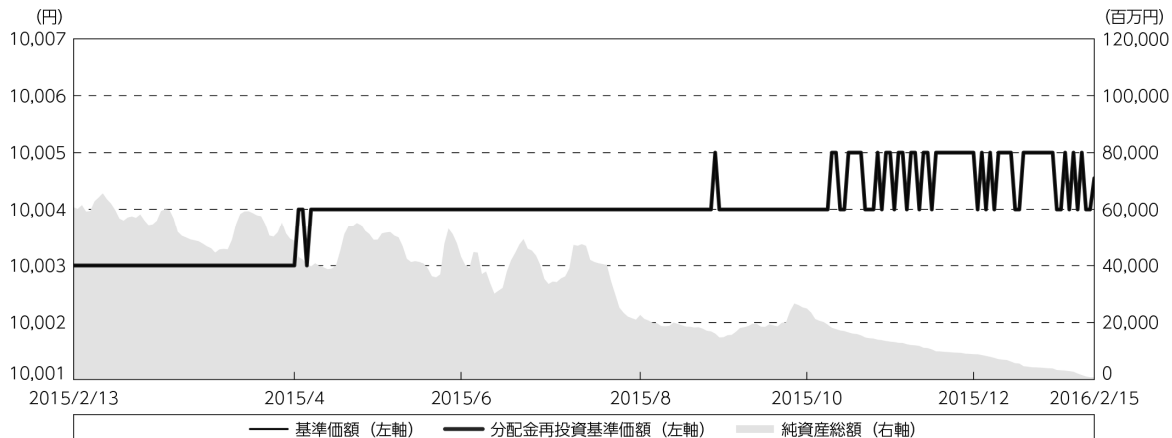
年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰	落				
(期首) 2015年2月13日	円 銭 10,003			%		%	%
2月末	10,003			—	60.7	—	—
3月末	10,003			0.0	83.1	—	—
4月末	10,003			0.0	—	—	—
5月末	10,003			0.0	81.0	—	—
6月末	10,004			0.0	81.8	—	—
7月末	10,004			0.0	—	—	—
8月末	10,004			0.0	41.2	—	—
9月末	10,004			0.0	74.1	—	—
10月末	10,004			0.0	—	—	—
11月末	10,004			0.0	81.1	—	—
12月末	10,005			0.0	81.6	—	—
2016年1月末	10,005			0.0	63.5	—	—
(償還時) 2016年2月15日	(償還価額) 10,004.55			0.0	80.8	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首： 10,003円

期末 (償還日)：10,004円55銭 (既払分配金 (税込み)：-円)

騰 落 率： 0.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2015年2月13日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

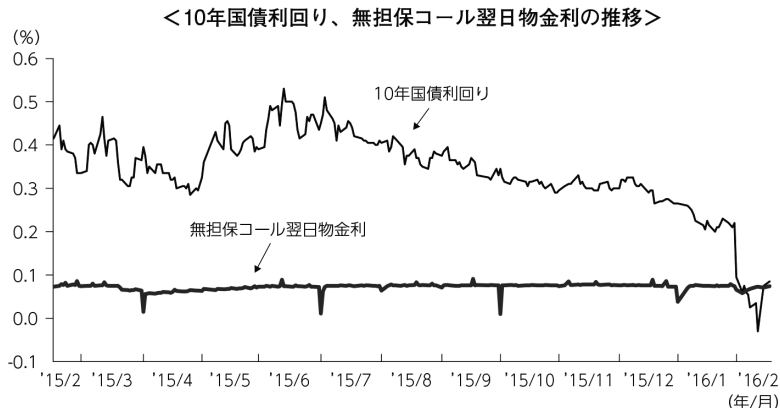
○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首10,003円から期末10,004.55円に1.55円の値上がりになりました。

公社債などへの投資により安定した収益の確保を図りました。

○投資環境

日本銀行が資金供給量を増加させる「量的・質的金融緩和」を継続したことから、短期金利は低位安定して推移しました。



(注) 債券利回りの低下は債券価格が上昇したことを表示し、逆の場合は下落したことを示します。

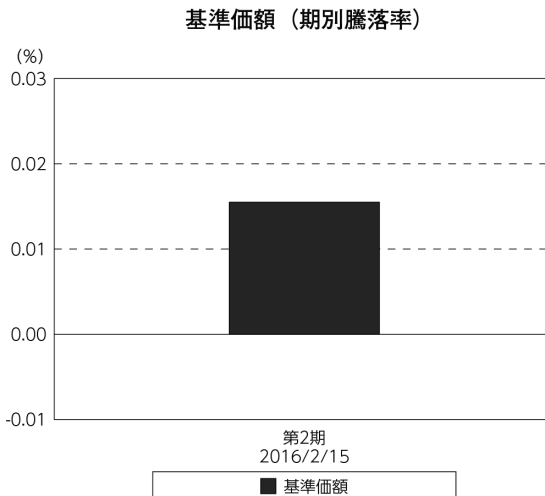
○当ファンドのポートフォリオ

資金増減（追加・解約）に応じて、短期の公社債やコール・ローンなど、短期金融商品（債券現先を含む）で運用し安定収益の確保に努めました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

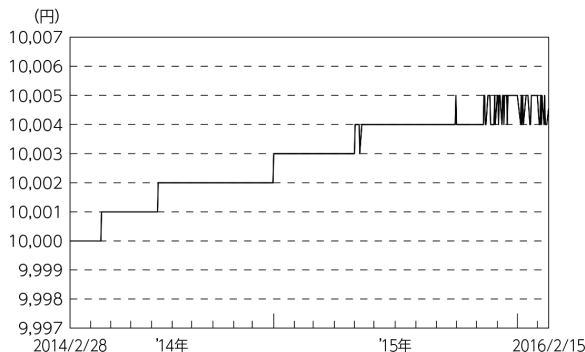


◎分配金

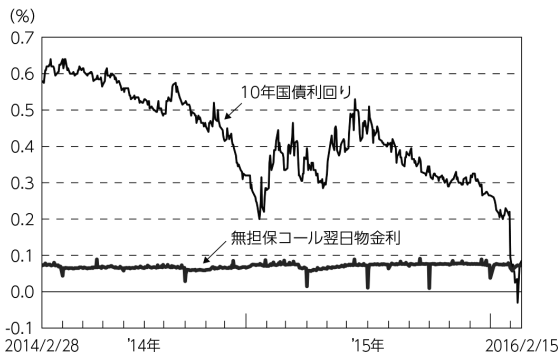
償還のため分配は行いませんでした。

◎設定来の運用経過

<設定来の基準価額の推移>



<10年国債利回り、無担保コール翌日物金利の推移>



(注) 債券利回りの低下は債券価格が上昇したことを表示し、逆の場合は下落したことを示します。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円が償還時10,004.55円となりました。設定来お支払した分配金は1万口当たり0円となりました。

第1期（2014年2月28日～2015年2月13日）

国内景気が徐々に回復に向かう中で、景気回復を下支えするために日本銀行は実質ゼロ金利政策も含めた包括的な金融緩和策をとってきました。加えて、2%の消費者物価上昇率の達成に向けて金融資産の買入の拡大などを行なう「量的・質的金融緩和」を導入した結果、短期金融商品の利回りは低位に推移しました。

基準価額は10,000円から10,003円に上昇しました。

第2期（2015年2月14日～2016年2月15日）

日本銀行が資金供給量を増加させる「量的・質的金融緩和」を継続したことから、短期金利は低位安定して推移しました。

基準価額は10,003円から10,004.55円に上昇しました。

○1万口当たりの費用明細

(2015年2月14日～2016年2月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 2	% 0.022	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(1)	(0.009)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(1)	(0.010)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(0)	(0.002)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.000	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	2	0.022	
期中の平均基準価額は、10,004円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年2月14日～2016年2月15日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国債証券	5,927,045,225	5,963,960,463

* 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

* 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年2月14日～2016年2月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年2月15日現在)

2016年2月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年2月15日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,099,135	% 100.0
投資信託財産総額	1,099,135	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年2月15日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資産	円 1,099,135,310
コール・ローン等	1,099,133,542
未収利息	1,768
(B) 負債	292,568,693
未払解約金	290,886,308
未払信託報酬	1,674,083
その他未払費用	8,302
(C) 純資産総額(A-B)	806,566,617
元本	806,200,000
償還差益金	366,617
(D) 受益権総口数	806,200,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,004円55銭

(注) 期首元本額60,759百万円、期中追加設定元本額288,588百万円、期中一部解約元本額348,541百万円、計算口数当たり純資産額10,004.55円。

○損益の状況 (2015年2月14日～2016年2月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 5,933,750
受取利息	5,933,750
(B) 有価証券売買損益	993,055
売買益	△3,195,147
売買損	4,188,202
(C) 信託報酬等	△6,882,695
(D) 当期損益金(A+B+C)	44,110
(E) 前期繰越損益金	12
(F) 追加信託差損益金	322,495
(配当等相当額)	(390,846)
(売買損益相当額)	(△ 68,351)
償還差益金(D+E+F)	366,617

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年2月28日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年2月15日			資産総額	1,099,135,310円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	292,568,693円	
				純資産総額	806,566,617円	
受益権口数	1,000,000口	806,200,000口	805,200,000口	受益権口数	806,200,000口	
元本額	1,000,000円	806,200,000円	805,200,000円	1万口当たり償還金	10,004円55銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	60,759,110,000円	60,777,629,027円	10,003円	0円	0%	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金 (税込み)	10,004円55銭
-----------------	------------

○お知らせ

デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2015年4月24日＞